平成24年9月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

平成24年5月10日

上場会社名　株式会社 ランドビジネス　　上場取引所　東
コード番号　8944　URL　http://www.lbca.co.jp/
代表者　(役職名) 代表取締役社長　(氏名) 井出　豊
問合せ先責任者 (役職名) 取締役副社長管理部担当　(氏名) 杉本　善郎　TEL 03-3595-1371

四半期報告書提出予定日　平成24年5月15日
配当支払開始予定日　―
四半期決算補足説明資料作成の有無　：　有
四半期決算説明会開催の有無　：　有

(百万円未満切捨て)

1. 平成24年9月期第2四半期の業績(平成23年10月1日～平成24年3月31日)

(1) 経営成績(累計)　(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年9月期第2四半期	2,234	△31.7	471	△14.9	106	△42.6	59	△38.5
23年9月期第2四半期	3,272	77.3	554	120.8	185	―	96	―

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年9月期第2四半期	237.10	―
23年9月期第2四半期	373.14	―

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
24年9月期第2四半期	44,788	15,515	34.6
23年9月期	44,106	15,508	35.2

(参考) 自己資本　24年9月期第2四半期　15,515百万円　23年9月期　15,508百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年9月期	―	0.00	―	200.00	200.00
24年9月期	―	0.00			
24年9月期(予想)			―	200.00	200.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無　：　無

3. 平成24年9月期の業績予想(平成23年10月1日～平成24年9月30日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	4,576	△14.7	1,053	2.7	352	22.9	197	26.2	782.90

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無　：　無

4. その他

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

詳細は、[添付資料]3ページ「2. サマリー情報(その他)に関する事項」をご覧ください。

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
② ①以外の会計方針の変更 : 無
③ 会計上の見積りの変更 : 無
④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	24年9月期2Q	267,808 株	23年9月期	267,808 株
② 期末自己株式数	24年9月期2Q	16,930 株	23年9月期	15,993 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	24年9月期2Q	251,248 株	23年9月期2Q	259,503 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期財務諸表に対する四半期レビュー手続が実施中です。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載した予想数値は、現時点で入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、多分に不確定な要素を含んでおります。
実際の業績等は業況の変化等により、上記予想数値と異なる場合があります。

○添付資料の目次

１．当四半期決算に関する定性的情報 …… 2
（１）経営成績に関する定性的情報 …… 2
（２）財政状態に関する定性的情報 …… 2
（３）業績予想に関する定性的情報 …… 2
２．サマリー情報（その他）に関する事項 …… 3
（１）四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 …… 3
（２）追加情報 …… 3
３．四半期財務諸表 …… 4
（１）四半期貸借対照表 …… 4
（２）四半期損益計算書 …… 5
第２四半期累計期間 …… 5
（３）四半期キャッシュ・フロー計算書 …… 6
（４）継続企業の前提に関する注記 …… 7
（５）セグメント情報等 …… 7
（６）株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記 …… 7
（７）重要な後発事象 …… 7

１．当四半期決算に関する定性的情報

文中の将来に関する事項は、当四半期会計期間の末日現在において当社が判断したものであります。

（１）経営成績に関する定性的情報

当第２四半期累計期間(平成23年10月１日～平成24年３月31日)におけるわが国経済は、東日本大震災後の落ち込みから回復傾向にありましたが、海外経済の減速や円高の影響などから輸出や生産の持ち直しの動きに足踏みが見られました。２月に日銀が金融緩和策を発表して以降株価も回復し明るさを感じられるようになりました。一方で、欧州の債務問題、海外経済の減速懸念や為替相場の行方など、先行きは不透明な状況にあります。

このような事業環境下、当期は物件の売却に優先して賃貸事業に経営資源を投入し、テナントリーシング業務に注力することといたしました。

以上の結果、当第２四半期累計期間の経営成績は、売上高2,234百万円（前年同四半期比31.7％減）、経常利益106百万円（前年同四半期比42.6％減）、四半期純利益59百万円（前年同四半期比38.5％減）となりました。なお、前期末に一部の物件を販売用不動産から固定資産に振替えたことにより、売上原価（減価償却費）が245百万円増加し、経常利益は同額の245百万円減少しております。同様に四半期純利益は139百万円減少しております。

なお、当社は賃貸事業を主要な事業としており、他の事業セグメントの重要性が乏しいため、第１四半期累計期間より、セグメント別の業績の記載を省略しております。

（２）財政状態に関する定性的情報

［財政状態の変動状況に関する定性的情報等］

当第２四半期会計期間末におきましては、総資産は、前事業年度末の44,106百万円から44,788百万円と682百万円増加しました。これは主に、建物が404百万円、その他の有形固定資産が63百万円、投資その他の資産が51百万円減少したものの、現金及び預金が1,189百万円増加したことによるものです。

総負債は、前事業年度末の28,597百万円から29,273百万円と675百万円増加しました。これは主に社債（一年以内含む）が316百万円、未払法人税等が57百万円、営業未払金が32百万円減少したものの、長期借入金（一年以内含む）が1,075百万円増加したことによるものです。

純資産は、前事業年度末の15,508百万円から15,515百万円と６百万円増加しました。これは主に、前期末配当金50百万円があったものの、四半期純利益を59百万円計上したことによるものです。

［キャッシュ・フローの状況に関する定性的情報等］

当第２四半期累計期間における現金及び現金同等物の残高は、営業活動によるキャッシュ・フローが575百万円の収入超過、投資活動によるキャッシュ・フローが211百万円の支出超過、財務活動によるキャッシュ・フローが686百万円の収入超過となったことにより、期首より1,050百万円増加し、6,349百万円となりました。

当第２四半期累計期間における各キャッシュ・フローの状況とその要因は次のとおりであります。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動によるキャッシュ・フローは、575百万円の収入超過（前年同四半期は1,827百万円の収入超過）となりました。これは主に、税引前四半期純利益106百万円及び減価償却費499百万円によるものです。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動によるキャッシュ・フローは、211百万円の支出超過（前年同四半期は2,881百万円の支出超過）となりました。これは主に、定期預金の純増加額139百万円及び有形固定資産の取得による支出75百万円によるものです。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動によるキャッシュ・フローは、686百万円の収入超過（前年同四半期は475百万円の収入超過）となりました。これは主に、長期借入金の返済による支出2,424百万円、社債の償還による支出316百万円及び配当金の支払額51百万円があったものの、長期借入れによる収入3,500百万円があったことによるものです。

（３）業績予想に関する定性的情報

平成23年11月10日に公表いたしました業績予想からの変更はありません。

２．サマリー情報（その他）に関する事項

（１）四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

税金費用の計算

税金費用については、四半期会計期間を含む事業年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

（２）追加情報

会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準等の適用

第１四半期会計期間の期首以後に行われる会計上の変更及び過去の誤謬の訂正より、「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準」（企業会計基準第24号 平成21年12月４日）及び「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第24号 平成21年12月４日）を適用しております。

３．四半期財務諸表
（１）四半期貸借対照表

（単位：千円）

	前事業年度 （平成23年９月30日）	当第２四半期会計期間 （平成24年３月31日）
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	5,350,709	6,539,724
営業未収入金	40,571	63,100
販売用不動産	943,655	883,562
仕掛販売用不動産	1,256,336	1,304,484
その他	179,261	181,477
貸倒引当金	△2,953	△2,502
流動資産合計	7,767,582	8,969,846
固定資産		
有形固定資産		
建物（純額）	19,697,522	19,293,248
土地	14,581,895	14,581,895
その他（純額）	534,091	471,047
有形固定資産合計	34,813,510	34,346,191
無形固定資産	756,931	756,109
投資その他の資産	768,576	716,649
固定資産合計	36,339,018	35,818,950
資産合計	44,106,600	44,788,797
負債の部		
流動負債		
営業未払金	76,348	43,939
短期借入金	87,500	80,000
1年内返済予定の長期借入金	4,047,266	5,961,200
1年内償還予定の社債	543,000	395,500
未払法人税等	117,194	59,967
賞与引当金	15,312	21,368
その他	521,794	554,786
流動負債合計	5,408,414	7,116,761
固定負債		
社債	737,000	568,000
長期借入金	19,695,964	18,858,020
退職給付引当金	18,090	20,083
受入敷金保証金	2,444,492	2,446,586
その他	294,024	264,328
固定負債合計	23,189,572	22,157,018
負債合計	28,597,987	29,273,779
純資産の部		
株主資本		
資本金	4,969,192	4,969,192
資本剰余金	5,099,179	5,099,179
利益剰余金	5,984,746	5,993,955
自己株式	△408,630	△422,718
株主資本合計	15,644,487	15,639,608
評価・換算差額等		
繰延ヘッジ損益	△135,874	△124,590
評価・換算差額等合計	△135,874	△124,590
純資産合計	15,508,613	15,515,018
負債純資産合計	44,106,600	44,788,797

（２）四半期損益計算書
（第２四半期累計期間）

（単位：千円）

	前第２四半期累計期間 （自　平成22年10月１日 至　平成23年３月31日）	当第２四半期累計期間 （自　平成23年10月１日 至　平成24年３月31日）
売上高	3,272,438	2,234,790
売上原価	2,359,205	1,422,537
売上総利益	913,233	812,253
販売費及び一般管理費	358,710	340,462
営業利益	554,522	471,791
営業外収益		
受取利息	982	845
雑収入	4,385	2,102
営業外収益合計	5,367	2,948
営業外費用		
支払利息	295,290	308,728
資金調達費用	59,461	51,028
雑損失	19,554	8,411
営業外費用合計	374,306	368,168
経常利益	185,583	106,571
特別損失		
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	18,623	－
特別損失合計	18,623	－
税引前四半期純利益	166,959	106,571
法人税等	70,130	47,000
四半期純利益	96,829	59,571

（３）四半期キャッシュ・フロー計算書

（単位：千円）

	前第２四半期累計期間 （自　平成22年10月１日 至　平成23年３月31日）	当第２四半期累計期間 （自　平成23年10月１日 至　平成24年３月31日）
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前四半期純利益	166,959	106,571
減価償却費	255,184	499,224
貸倒引当金の増減額（△は減少）	2,870	124
賞与引当金の増減額（△は減少）	△2,766	6,055
退職給付引当金の増減額（△は減少）	△2,066	1,993
受取利息及び受取配当金	△982	△845
支払利息	295,290	308,728
売上債権の増減額（△は増加）	△4,150	△22,528
たな卸資産の増減額（△は増加）	1,116,913	11,945
仕入債務の増減額（△は減少）	26,365	△32,408
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	18,623	－
その他	290,488	99,024
小計	2,162,731	977,885
利息及び配当金の受取額	982	845
利息の支払額	△293,815	△299,896
法人税等の支払額又は還付額（△は支払）	△42,608	△103,676
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,827,289	575,158
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有価証券の償還による収入	5,000	－
定期預金の増減額（△は増加）	1,000	△139,000
有形固定資産の取得による支出	△2,895,269	△75,267
投資有価証券の取得による支出	△5,000	－
その他	13,113	2,283
投資活動によるキャッシュ・フロー	△2,881,156	△211,984
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額（△は減少）	△62,400	△7,500
長期借入れによる収入	3,875,000	3,500,000
長期借入金の返済による支出	△2,544,573	△2,424,011
社債の発行による収入	195,902	－
社債の償還による支出	△812,750	△316,500
自己株式の取得による支出	△121,904	△14,087
配当金の支払額	△53,336	△51,061
財務活動によるキャッシュ・フロー	475,938	686,840
現金及び現金同等物の増減額（△は減少）	△577,928	1,050,014
現金及び現金同等物の期首残高	5,431,396	5,299,709
現金及び現金同等物の四半期末残高	4,853,468	6,349,724

（４）継続企業の前提に関する注記
該当事項はありません。

（５）セグメント情報等
Ⅰ　前第２四半期累計期間（自平成22年10月１日 至平成23年３月31日）
報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：千円）

	報告セグメント		合計
	不動産投資事業	賃貸事業	
売上高			
外部顧客への売上高	1,539,945	1,732,493	3,272,438
セグメント間の内部売上高又は振替高	－	－	－
計	1,539,945	1,732,493	3,272,438
セグメント利益又は損失（△）	△10,324	564,847	554,522

（注）セグメント利益は、四半期損益計算書における営業利益と一致しております。

Ⅱ　当第２四半期累計期間（自平成23年10月１日 至平成24年３月31日）
当社は賃貸事業を主要な事業としており、他の事業セグメントの重要性が乏しいため、記載を省略しております。

（６）株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記
該当事項はありません。

（７）重要な後発事象
該当事項はありません。